

Panasonic®



取扱説明書

ドライブレコーダー

品番 CA-XDR72GD



micro
SD
HD

ご使用前に、「安全上のご注意」(P5～P8)を必ずお読みください。

- このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
 - 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、大切に保管してください。

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

品名	数量		
 <p>ドライブレコーダー (本体)</p>	1		
 <p>ブラケット (両面テープ付き)</p>	1		
 <p>シガーライター コード (4.1 m) (12 V/24 V 車対応)</p>	1		
 <p>microSDHC メモリーカード 16 GB</p>	1		
 <p>カードアダプター</p>	1		
 <p>注意文カード</p>	1		
 <p>CD-ROM</p>	1		
<p>■その他添付品</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="557 1168 842 1343"> <p>取扱説明書 (簡易版)</p>  </td> <td data-bbox="842 1168 1037 1343">1</td> </tr> </table>	<p>取扱説明書 (簡易版)</p> 	1
<p>取扱説明書 (簡易版)</p> 	1		

※ イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

※ 包装材料などは、商品を取り出したあと、地域・自治体の定めに従って、適切に廃棄
 やリサイクルの処理をしてください。

もくじ

内容物の確認	2
もくじ	3
安全上のご注意	5
取り付けや配線をするとき	5
ご利用になるとき	7
異常発生時やお問い合わせは	8
使用上のお願い	9
ドライブレコーダーについて	9
電源について	9
著作権などについて	9
免責事項について	9
各部のなまえとはたらき	10
ドライブレコーダーの取り付けかた	11
ドライブレコーダーの取り付け位置について	11
1. microSDHC メモリーカードの挿入 / 取り出し	12
2. microSDHC メモリーカードについて	13
3. フロントガラスへの取り付け	14
4. シガーライターソケットへの接続	15
5. ドライブレコーダーの角度調整	16
電源のオン / オフ	17
電源のオン	17
電源のオフ	17
本機の再起動	17
最初の設定	18
[自動録画・録音] の設定 初期設定: [オン]	18
[衛星同期設定] 初期設定: [オン]	18
[日付 / 時間設定] 初期設定: [+ 9]	19
使いかた	20
ビデオ録画の画面	20
運転中のビデオ録画をしたり停止するには	21
緊急録画をするには	21
スナップ画像の撮影をするには	22
緊急録画ファイルの保護範囲について	22
クイック 4 分割ディスプレイ	24
ドライバー疲労警告	25
車線逸脱警告	26
前方衝突警告	27
前方衝突警告機能について	28

もくじ (つづき)

録画した [画像]/[ビデオ]/[緊急録画] を見るには	29
記録ファイル再生 / 表示画面	30
記録ファイルを削除するには	31
記録ファイルを保護するには	31
設定	32
メニューの内容	32
メニューの操作	33
メニューの設定項目と機能	34
画質設定と録画時間について	37
商標などについて	37
本機のお手入れ	37
ソフトウェアおよびオープンソースソフトウェアについて	38
故障かな?!	39
仕様	41
付属のソフトについて [DVR プレイヤー]	42
「DVR プレイヤー」について	42
「DVR プレイヤー」のインストール	42
操作画面	43

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

● 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

● お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき



警告



シガーライターコード (12 V / 24 V 車対応) は⊖アース車専用です

⊕アース車に使用すると、火災や故障の原因となります。

ブラケットおよびドライブレコーダー本体は、保安基準に従って取り付ける
視界不良による事故の原因となります。

説明書に従って、正しく取り付けや配線をする

火災や故障の原因となります。

作業が困難な場合は、お買い上げの販売店 (専門業者) へご依頼ください。

シガーライタープラグは確実に差し込む

感電や発熱による火災などの原因となります。

シガーライターソケットは、定期的に点検・清掃する

ソケットの中にタバコの灰などの異物が入ると、接触不良により発熱し、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品*の動作確認をする

正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。

*ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど



視界や運転を妨げる場所*、同乗者に危険をおよぼす場所には取り付けない
交通事故やけがの原因となります。

*ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

安全上のご注意 (つづき)

警告



車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしない

カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因になります。
車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、死亡事故や重傷を負うおそれがあります。

車両メーカー・車をお買い上げの販売店に作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けに車の保安部品^{*}を使わない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

^{*} ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

シガーライターソケットまたはアクセサリ用電源ソケットから複数の電源をとらない

複数の機器を接続すると、車両の定格を超えることがあり、火災や感電、故障、車両側ヒューズの断線などの原因となります。

小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。

万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



分解禁止

分解や改造をしない

特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。
交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



ぬれ手禁止

ぬれた手でシガーライタープラグの抜き差しはしない

感電の原因となります。

注意



必ず、付属品や指定の部品を使用する

機器の損傷や、確実に固定できず、事故や故障、火災のおそれがあります。

ブラケットは、取り付け場所の汚れ（ごみ・ほこり・油）などを取り除き、しっかり取り付ける

走行中に外れ、交通事故やけがのおそれがあります。

ときどき取り付け状態（接着など）を点検してください。

板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する

断線やショートによる火災や感電、故障のおそれがあります。



振動の多い場所や不安定な場所には、取り付けない

走行中に外れ、交通事故やけがのおそれがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障のおそれがあります。

安全上のご注意（つづき）

注意



コードを破損しない

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように引き回してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

ご利用になるとき

警告



必ず規定容量のヒューズを使用する、また交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に依頼してください。

ドライブレコーダー本体の温度を確認してから、角度調整や microSDHC メモリーカードの抜き差しをする

高温環境での放置（直射日光などが長時間あたっていた場合）や連続使用した場合などは、高温になり、やけどをするおそれがあります。



運転中に操作したり、画像や表示を注視しない

交通事故やけがの原因となります。

必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いた状態でご使用ください。

故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

microSDHC メモリーカードや小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。

万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。

安全上のご注意（つづき）



注意



本機を車載用以外には使用しない

発煙や発火、感電、けがのおそれがあります。

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない

発煙や発火、感電、けがのおそれがあります。

異常発生時やお問い合わせは

まず、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」（[取扱説明書（簡易版）](#)）
「保証とアフターサービス」にご相談ください。

- お客様による修理は、絶対におやめください。

使用上のお願い

ドライブレコーダーについて

- 本機のみでは使用できません。必ず本機に microSDHC メモリーカードを挿入してからご使用ください。
- 自動録画時は常に記録を繰り返しますが、全ての状況において録画した映像を保証するものではありません。
- 録画した映像は、事故などの証拠として効力を保証するものではありません。
- LED 式信号機などを録画すると、点滅して表示されたり、色の識別ができない場合があります。
- 推奨動作温度（ $-10^{\circ}\text{C} \sim +70^{\circ}\text{C}$ ）の範囲外で使用すると、映像が黄色く表示されるなど、正常に動作しなかったり、録画を停止する場合がありますので、推奨動作温度の範囲でご使用ください。
- 冷暖房を入れた直後など、結露で本機のレンズがくもる場合があります。
- 本機のレンズを手で触らないでください。

電源について

- 本機の電源スイッチをオンにしておくと、エンジンをかけると自動的に電源がオンになります。またエンジンを停止すると、自動的に電源がオフになります。

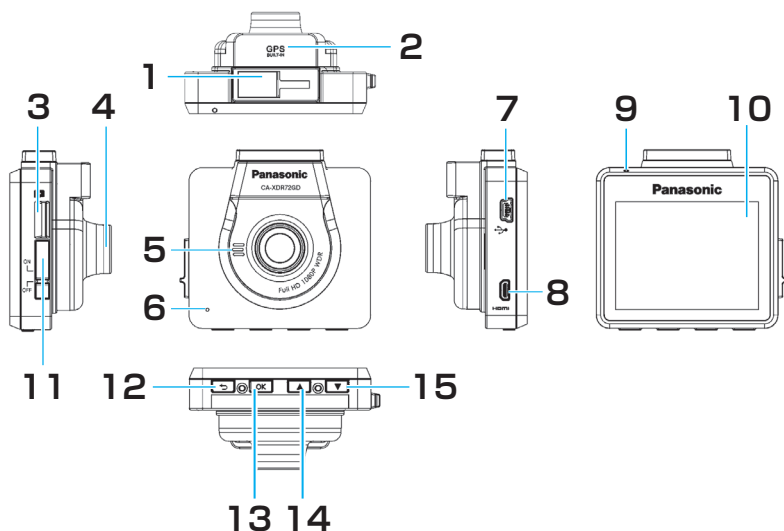
著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
 - 撮影した映像や画像は、個人で楽しむ以外は、権利者に無断で使用できません。個人使用目的でも撮影が制限されている場合があります。
- 影したり、不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律・条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の補償はできません。
- 次の場合、補償はできません。
 - ・ 誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
 - ・ 誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに microSDHC メモリーカードに記録されていたファイルが変化・消失した場合

各部のなまえとはたらき



1. **ブラケットホルダー**
付属のブラケットを取り付けます。
2. **GPS アンテナ (内蔵)**
GPS 衛星電波を受信します。
3. **microSDHC メモリーカード挿入口**
向きを確認して microSDHC カードを挿入します。
4. **広角レンズ**
広角の固定フォーカス (焦点) レンズです。
5. **スピーカー**
6. **マイク**
7. **USB / 電源コネクタ**
シガーライターコードを接続します。
8. **HDMI 出力端子コネクタ**
HDMI 入力端子のある映像機器等と接続します。
9. **LED インジケータ**
緑色：電源起動中、
電源シャットダウン中、
録画停止中
赤色：録画中、録画中のモニターオフ
橙色：電源オフ
10. **LCD モニター**
映像を表示します。
11. **電源スイッチ**
電源のオン / オフをします。
12. **← (戻る) ボタン**
主にメニューを表示、終了したり 1 つ前の画面に戻ります。
録画中に押すと、緊急録画をします。
13. **OK (確定) ボタン**
主にメニューの項目を確定したり、録画停止、ビデオの再生、一時停止をします。
14. **▲ ボタン**
主にメニューの項目を選択、スナップ画像の撮影をします。
15. **▼ ボタン**
主にメニューの項目を選択、録画中に押すと、走行方向、速度、現在時刻を表示します。(P24)

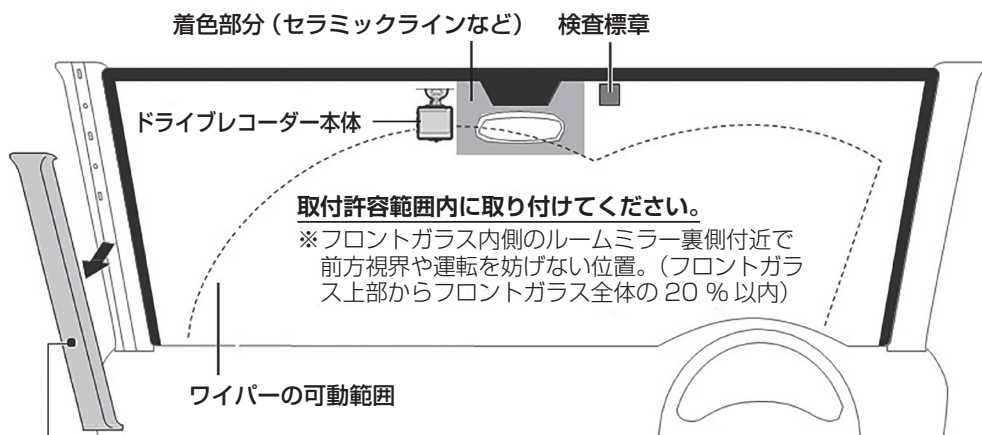
ドライブレコーダーの取り付けかた

ドライブレコーダーの取り付け位置について

■ 性能を十分発揮するために、下記を守って取り付けてください。

- フロントガラスの上部 20 % の範囲内に取り付けてください。
- 視界の妨げにならないように取り付けてください。
- 検査標章などと重なったり、検査標章などが映らないように取り付けてください。
- ワイパーの可動範囲が映るように取り付けてください。雨天などのとき、鮮明に録画できない場合があります。
- フロントガラスの着色部分（セラミックラインなど）が映らないように、取り付けてください。
- 本機の LED ランプが確認でき、microSDHC メモリーカードを挿入 / 取り出しできる位置に取り付けしてください。
- 指定の位置や寸法内に取り付けられない場合、車載カメラ装置などが装備されている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、必ず取付許容範囲内（下図参照）に取り付けください。

※道路運送車両の保安基準 第 29 条（窓ガラス）、細目告示第 39 条、第 117 条および第 195 条最新の保安基準は、国土交通省の Web サイトをご確認ください。



配線する側のピラーカバーを取り外す（配線後は元に戻す）

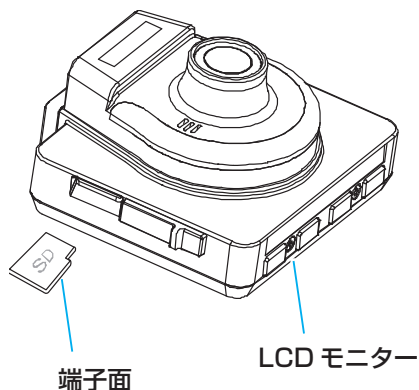
- ピラーカバーの取り外し方は車種によって違います。
- 車両装備品の動作を妨げないように、取り付けや配線をしてください。
- ピラーにエアバッグが装備されている場合は、取り付けできません。

ドライブレコーダーの取り付けかた (つづき)

1. microSDHC メモリーカードの挿入 / 取り出し

- 最初に使用するときは、microSDHC メモリーカードをフォーマット（初期化）してください。（[P36](#)）
- microSDHC メモリーカードの端子面を下向きに、本機の LCD モニターを下向きになるようにして、カチッと音がするまで microSDHC メモリーカード挿入口へ差し込みます。
- microSDHC メモリーカードを 1 回押すと取り出すことができます。

LCD モニターの映像が完全に消えてから、microSDHC メモリーカードの挿入 / 取り出しを行ってください。



ドライブレコーダーの取り付けかた (つづき)

2. microSDHC メモリーカードについて

■ 本機で使用できる microSDHC メモリーカード

- 付属の microSDHC メモリーカード
- 市販の microSDHC メモリーカード* (Class10 の 8 GB ~ 32 GB)
※ SDHC ロゴのある (SD 規格準拠) カードのみ使用できます。

■ 初めて使用するときは、本機でフォーマット (初期化) してください。(P36)

- 本機で使用している microSDHC メモリーカードをパソコンなどで読み込むときに、microSDHC メモリーカード内にドライブレコーダー用の管理ファイルが表示される場合がありますが、移動や削除、ファイル名の変更などしないでください。
- 本機以外でフォーマット (初期化) しないでください。パソコンなどでフォーマット (初期化) すると正常に動作しない場合があります。

■ microSDHC メモリーカードは少なくとも 1 カ月に 1 度、定期的にフォーマットしてください。(P36)

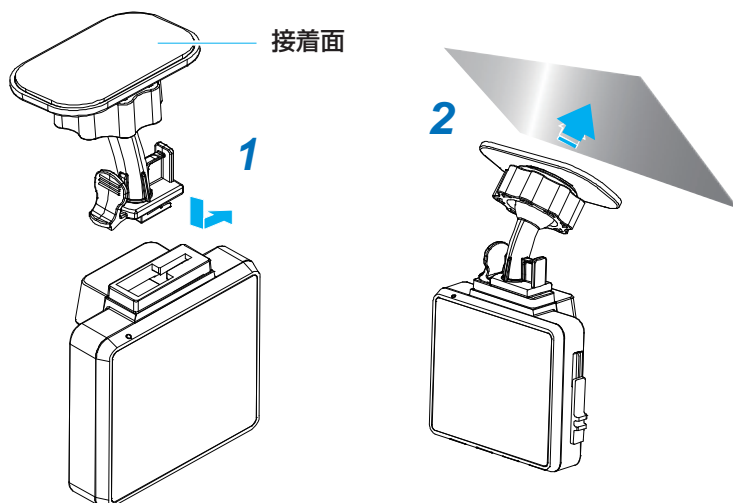
microSDHC メモリーカードの取り扱い

- 録画や再生、初期化などをしているときに、microSDHC メモリーカードを取り出さないでください。
- microSDHC メモリーカードの初期化中にエンジンを切らないでください。
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 長時間使用すると、microSDHC メモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 市販の microSDHC メモリーカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- microSDHC メモリーカードの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- microSDHC メモリーカードにシールやラベルを貼り付けしないでください。
- microSDHC メモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや消去などができなくなる場合があります。特にドライブレコーダーの使用は、不良セクタ*などが発生しやすく、平均寿命より短くなる場合があります。起動時に microSDHC メモリーカードのフォーマット (初期化) や交換を促すメッセージが表示されたら、メッセージに従ってフォーマット (初期化) または市販の microSDHC メモリーカードに交換することをおすすめします。
※長時間の使用でメモリーが損傷し、データを保存できなくなった領域

ドライブレコーダーの取り付けかた (つづき)

3. フロントガラスへの取り付け

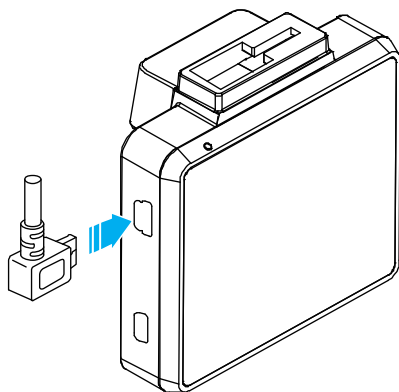
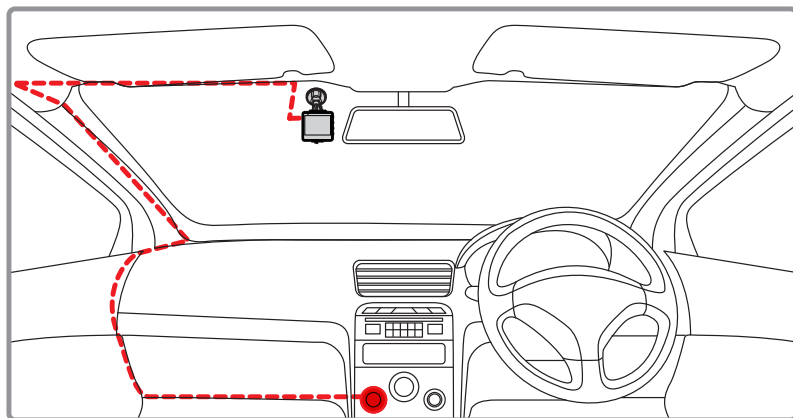
- 1 ブラケットを、本機上部のブラケットホルダーに、カチッと音がするまで差し込んで取り付ける
 - 2 ブラケットの接着面を、フロントガラスの事前に決めた位置に軽く当てる
 - 3 ブラケットの接着面を押して、フロントガラスに固定する
- ブラケットが所定の位置に固定されていることを確認します。



ドライブレコーダーの取り付けかた (つづき)

4. シガーライターソケットへの接続

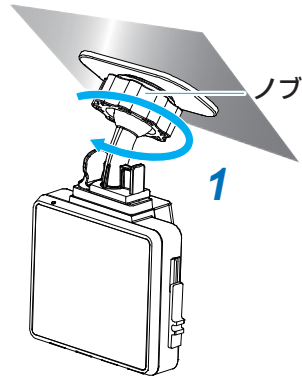
付属のシガーライターコードを使用して、本機とシガーライターソケットを接続する



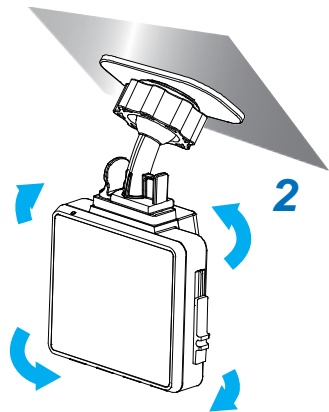
ドライブレコーダーの取り付けかた (つづき)

5. ドライブレコーダーの角度調整

- 1 ノブを緩め、本機の垂直方向の角度、水平方向の角度 (最大 360° 回転) を調整する



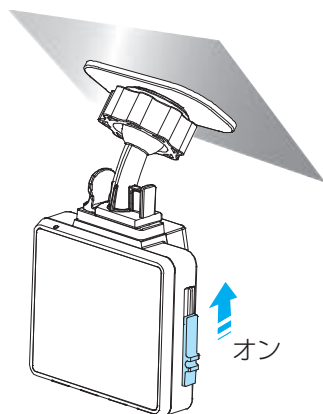
- 2 角度が決まったら、ノブを締め、本機が安全に所定の位置に固定されていることを確認する



電源のオン / オフ

電源のオン

- 本機の電源スイッチがオンの場合、車のエンジンを始動すると、本機の電源は自動的にオンになります。[自動録画・録音]機能が[オン]に設定されている場合、本機はオンになった後、自動的に録画を開始します。

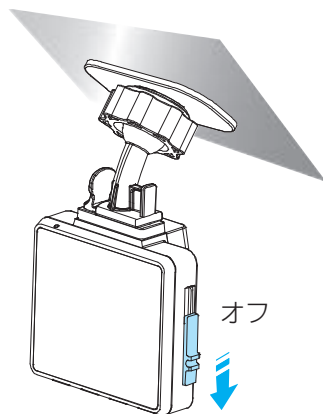


電源のオフ

- 本機の電源スイッチを、下へスライドさせてオフにします。microSDHC メモリーカードの取り出しが可能になります。

microSDHC メモリーカードの挿入 / 取り出しは、LCD モニターの映像が完全に消えてから行ってください。

- 初めて使用する場合や、電源をオフにして 1 週間以上使用しなかった場合は、microSDHC メモリーカードの損傷を避けるために、車のエンジンを始動して 1 分以上待ってから電源をオンにしてください。



本機の再起動

- 本機が原因不明のエラーにより正常に動作しなくなった場合は、電源スイッチを下にスライドさせてオフにし、8 秒経った後、再びオンの位置に戻して再起動を行ってください。

最初の設定

[自動録画・録音]の設定 初期設定:[オン]

電源がオンになると、自動的に録画を開始することができます。

- 1 ▼ (⚙) ボタンを押してメニューを表示する
 - 2 ▲ / ▼ (▲ / ▼) ボタンを押し、[自動録画・録音]を選択して、OK(✓) ボタンを押す
 - 3 ▲ / ▼ (▲ / ▼) ボタンを押し、[オン]を選択して、OK ボタンを押す
- メニューを終了するには、↶ ボタンを押します。



[衛星同期設定] 初期設定:[オン]

GPS 衛星と同期することで時間の調整が不要になります。また走行方向や走行速度、走行状況、各種警告を表示することができます。(P24)

- 1 ▼ (⚙) ボタンを押してメニューを表示する
- 2 ▲ / ▼ (▲ / ▼) ボタンを押し、[衛星同期]を選択して、OK ボタンを押す
- 3 ▲ / ▼ (▲ / ▼) ボタンを押し、[オン]を選択して、OK ボタンを押す

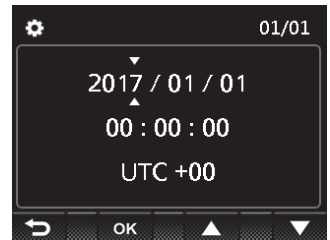
- 車内でご使用の電子機器 (アマチュア無線機、レーダー探知機、ETC、ナビゲーションシステムなど) の妨害、または一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより、電波がさえぎられ受信感度が悪化したり、受信時間がかかったりすることがあります。
- 本機と GPS 衛星との間に障害物があると、電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。現在地の測位に適した場所は、屋外の電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所です。
- 次のような場所では、GPS 衛星からの電波が受信しにくいいため、移動してください。
 - トンネルの中 ■ 高層ビルに囲まれたところ ■ 樹木の密集したところ
 - 高速道路の下など ■ 建物の中

最初の設定 (つづき)

[日付 / 時間設定] 初期設定 : [+ 9]

GPS 衛星と同期すると、自動的に正確な時刻を設定しますので、日付 / 時間設定の操作は不要です。

- 1 ▼ (⚙) ボタンを押してメニューを表示する
- 2 ▲ / ▼ (▲ / ▼) ボタンを押し、[日付 / 時間設定] を選択して、OK ボタンを押す
- 3 ▲ / ▼ (▲ / ▼) ボタンを押し、[+ 9] を選択して、OK ボタンを押す



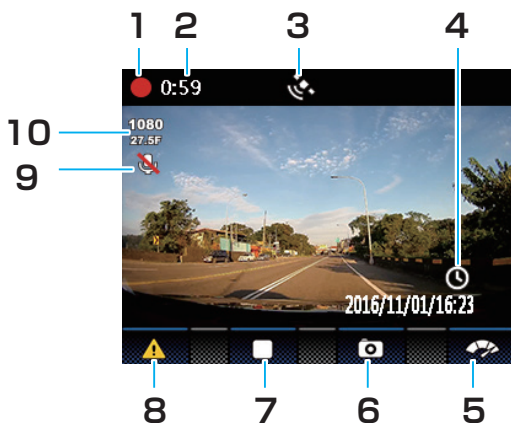
お知らせ

- 衛星の時刻は時間帯に同期しており、国が違くと時間帯が異なる場合があります。衛星同期の機能を [オン] に設定した場合、正しい時間帯を選択する必要があります。世界の時間帯はおおよそ以下のように分けられています。

国	時間帯
アメリカ (ニューヨーク)	UTC - 5
ロシア (ヨーロッパ)	UTC + 4
台湾・香港・中国	UTC + 8
韓国・ 日本	UTC + 9

使いかた

ビデオ録画の画面



- 録画中**
ビデオを録画中のときに、表示します。
- 録画時間**
録画時間を表示します。
- GPS アイコン**
GPS 衛星と同期すると、マークが表示されます。
- 時刻設定アイコン**
時刻が初期設定に戻ると、このアイコンが表示されます。消えると現在の時刻が表示されます。
- クイック 4 分割ディスプレイ**
▼ ボタンを押すと、走行方向、走行速度、走行状況、各種警告を表示します。
- 撮影アイコン**
▲ ボタンを押すと、スナップ画像の撮影をします。
- 録画停止**
OK ボタンを押すと、録画を停止します。
- 緊急録画**
手動の場合：
ビデオ録画中に ◀ ボタンを押すと、▶ ボタンを押したときのファイルから手動で停止したときのファイルを保存することができます（ボタンを押したタイミングにより 1 つ前、1 つ後のファイルも保存される場合があります）。
衝突が検出された場合：
自動的に緊急録画モードに入ります。
- マイクミュート表示**
マイクが消音になっていると、マークが表示されます。
- 解像度**
[録画の解像度設定] で設定された解像度が表示されます。(P34)

使いかた (つづき)

運転中のビデオ録画をしたり停止するには

自動車のエンジンが始動し、[自動録画・録音]機能がオンになっていると、本機の電源が自動的にオンになり、録画を開始します。(LEDインジケーターが赤く点灯します。)

エンジンが停止すると、録画が自動的に停止します。またビデオ録画中に **OK** ボタンを押すと、録画を停止することができます。(LEDインジケーターが緑色に点灯します。) 再び録画するときは **OK** ボタンを押します。



お知らせ

- 録画は1分または3分ごとに、1つの記録ファイルとして保存されます。(P35)
- 本機はmicroSDHCメモリーカードに録画を保存します。microSDHCメモリーカードの容量がなくなると、自動的に古い記録ファイルから順に上書きされて繰り返し保存し続けます。(P37)
- 本機はFull HD 1 920 × 1 080 27.5 fps/30 fps の設定で撮影を行なうと、HDR (High Dynamic Range) が有効となり、露出が不足している暗部の明るさを改善することができます。(逆光補正)

緊急録画をするには

録画したビデオを緊急に保護したいときに使用します。

👉 ボタンを押したときのファイルから手動で停止したときのファイルを保護します(ボタンを押したタイミングにより1つ前、1つ後のファイルも保護される場合があります)。

ビデオ録画中に、👉 ボタンを押すと、緊急録画モードに入ります。緊急メッセージが画面の右上に表示され、録画データが保護されます。録画を停止するには、**OK** ボタンを押します。

衝突が検出された場合：自動的に緊急録画モードに入ります。録画を停止するには、**OK** ボタンを押します。



お知らせ

- 緊急録画機能はビデオ録画中のみ動作します。
- 緊急録画機能で撮影したビデオは上書きされないように、保護され保存されます。8 GB以上のメモリーカードで最大10個の緊急録画ファイルを保存することができます。緊急録画ファイルが容量の上限に達したとき、LCDモニターに「ファイルが一杯です」のメッセージが表示されると、自動的に古い緊急録画ファイルから順に上書きされて繰り返し保存し続けます。

使いかた（つづき）

スナップ画像の撮影するには

本機でスナップ画像を撮影することができます。

ビデオ録画中の場合、▲ボタンを押すと、画像を撮影して、保存することができます。必ず車が停止した状態で行ってください。最大 50 枚まで保存することができます。[写真がいっぱいです]が表示されたら、それ以上保存することができません。新しい画像を保存したい場合は、保存された画像を削除する必要があります。

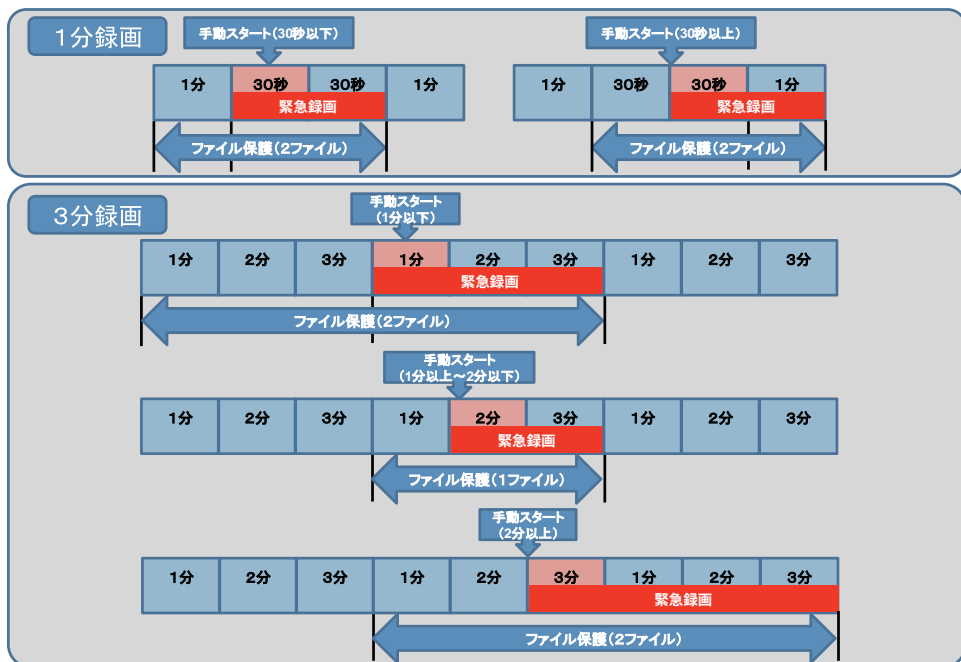


スナップ画像の撮影は、必ず車が停止した状態で行ってください。

緊急録画ファイルの保護範囲について

自動で停止する場合：

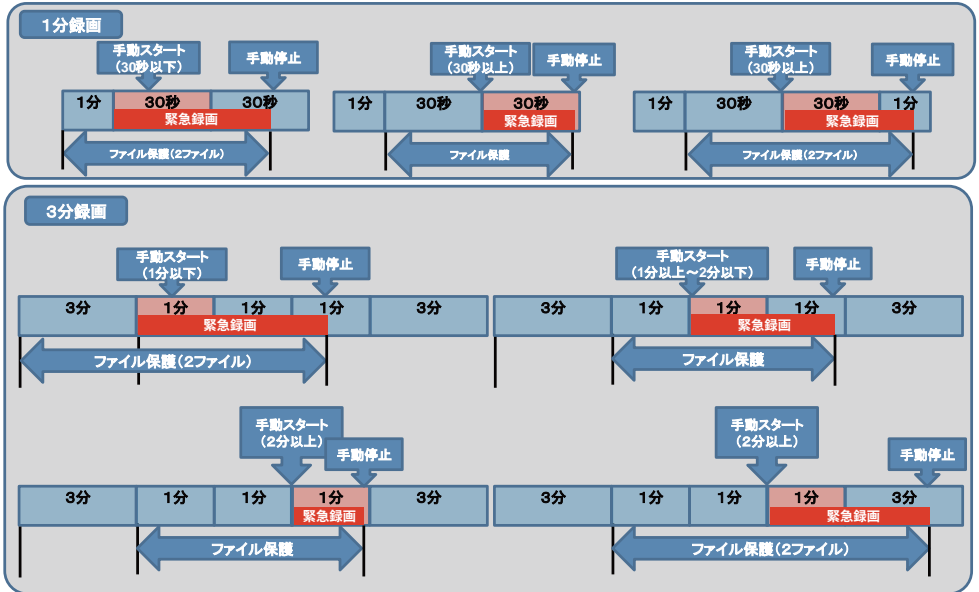
⬅ ボタンを押したタイミング（手動で録画）、または衝突を感知したタイミング（自動で録画）により、保護されるファイルは以下のようになります。



使いかた (つづき)

手動で停止する場合：

➡ ボタンを押したタイミング（手動で録画）、または衝突を感知したタイミング（自動で録画）により、保護されるファイルは以下のようになります。



使いかた (つづき)

クイック 4 分割ディスプレイ

ビデオ録画中に ▼ ボタンを押すと、表示が切り替わります。
もう一度 ▼ ボタンを押すと、元の表示に切り替わります。



- 1. 警告マーク**
速度制限、ドライバー疲労警告を表示します。(P25)
- 2. 各種警告**
車線からの逸脱、前方車との衝突回避の警告を表示します。
(P26, P27)
- 3. 走行スピード**
現在のスピードを表示します。制限スピードを超えている場合は、赤表示になります。
- 4. 走行方向**
走行方向を表示します。

お知らせ

- GPS の信号を受信できない場合、走行速度と走行方向はグレースケールになります。

使いかた（つづき）

ドライバー疲労警告

この機能をオンにしている場合、車の運転が開始された 1 時間後に、お知らせ音とメッセージを画面に表示し、その後 1 時間ごとに、お知らせを表示します。

ビデオ録画中の場合、OK ボタンを押して、録画を停止します。

- 1 ▼ボタンを押し、メニューを表示し、
▲ / ▼ボタンで **[ドライバー疲労警告]** を選択して、OK ボタンを押す
- 2 ▲ / ▼ボタンを押し、**[オン]** を選択して、OK ボタンを押す



お知らせ

- ドライバー疲労警告機能は、録画を停止している状態では働きません。録画を開始した時点から時間を計測します。

使いかた (つづき)

車線逸脱警告

この機能をオンにして、GPS 衛星との同期が完了、走行速度が 60 km/h 以上で、車が車線はずれたときや車線を変更したとき、お知らせ音とメッセージを画面に表示します。

ビデオ録画中の場合、OK ボタンを押して、録画を停止します。

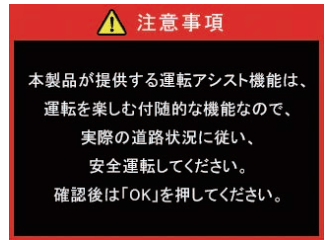
1 ▼ボタンを押し、メニューを表示し、
▲ / ▼ボタンで [車線逸脱警告] を選択して、
OK ボタンを押す

- 右の画面が表示されますので、内容をよくお読みになった上で OK ボタンを押します。もし 5 秒以上 OK ボタンが押されなかった場合、メニュー画面に戻ります。

2 ▲ / ▼ボタンを押し、[オン] を選択して、
OK ボタンを押す

3 ↶ボタンを押して、録画面面に戻る

- 車線はみ出し検出機能が動き、画面中央部に調整アイコン (赤と白の点線) が表示されます。調整アイコンが右の写真のように道路の水平線に平行にオーバーラップ表示されるように、また 2 本の斜線が道路の車線と平行にオーバーラップ表示されるように、本機の角度を調整します。(P16) 調整アイコンは 2 分後に消えます。調整アイコンが車の一部 (例えばボンネット) に重なっていないかを確認してください。もし線の端が車の一部などに重なっていると、システムが正常に判断できません。



調整アイコン



お知らせ

- 夜の時間帯や雨の日などの環境により正常に動作しない場合があります。このようなときは、**実際の走行中の状況に合わせて運転してください。**
- 車線逸脱警告機能は GPS 衛星との同期が完了してないと動作しません。

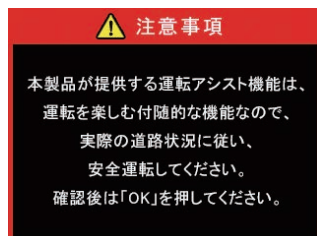
使いかた（つづき）

前方衝突警告

この機能をオンにして、GPS 衛星との同期が完了、走行速度が 60 km/h 以上で、前方車との距離が 20 m 以下になったとき、お知らせ音とメッセージを画面に表示します。

ビデオ録画中の場合、OK ボタンを押して、録画を停止します。

- ▼ボタンを押し、メニューを表示し、▲/▼ボタンで [前方衝突警告] を選択して、OK ボタンを押す
 - 右の画面が表示されますので、内容をよくお読みになった上で OK ボタンを押します。もし 5 秒以上 OK ボタンが押されなかった場合、メニュー画面に戻ります。
- ▲/▼ボタンを押し、[オン] を選択して、OK ボタンを押す
- ↶ ボタンを押して、録画面面に戻る



お知らせ

- 夜の時間帯や雨の日などの環境により正常に動作しない場合があります。こういうときは、**実際の走行中の状況に合わせて運転してください。**

使いかた（つづき）

前方衝突警告機能について

前方車のイメージが警告基準に達していると本機が判断した場合、ドライバーに注意喚起し、安全な車間距離を保つために警告します。しかしこの機能の判断精度は以下の場合に影響を受けますので、あくまで補助的な機能としてご使用ください。**必ず実際の走行中の状況に合わせて運転をしてください。**

- 空が暗くて灯りが不足している
- 大きなカーブがあるような山道を運転しているとき
- 複雑な車線で構成されているような道を運転しているとき
- 前方車によって、水が飛び散る、雪やホコリが舞い上がったとき
- 嵐を通過中、または霧やホコリの多い場所
- 太陽に向かって運転しているとき
- 日没時、薄明かりが空に残っている場合
- ビルやガードレールの影でマークした線が隠れた場合
- トンネルに入ったときなど、明るさの一時的な変化
- 外部環境の光が著しく変化した場合
- 反射板などからの強い光を受けたとき

使いかた (つづき)

録画した [画像]/[ビデオ]/[緊急録画] を見るには

録画中の場合は、OK ボタンを押して、録画を停止します。



- 1 **←**を押すと、ファイル再生選択画面になる
- 2 **▲**/**▼**ボタンを押し、再生/表示したい記録ファイルのカテゴリーを選択して、OK ボタンを押す



- 3 **▲**/**▼**ボタンを押し、再生/表示したい記録ファイルのサムネイルを選択して、OK ボタンを押す
- 選択した記録ファイルを再生/表示することができます。

- 4 [緊急録画]/[ビデオ] の場合、OK ボタンを押すと一時停止する
もう一度押すとファイルを再生する



[画像] の場合、OK ボタンを押すと次の画像を表示する



お知らせ

- 本機に HDMI ケーブルを取り付けた場合、録画機能を使用することはできません。
- 本機に HDMI ケーブルを取り付けた場合、再生画面は接続されたモニターに表示されます。本機には何も表示されません。

使いかた (つづき)

記録ファイル再生 / 表示画面

[ビデオ画面]



[ビデオ画面 (一時停止)]



[静止画面]



1. 再生中

ビデオを再生中 / 一時停止中のときに、表示します。

2. 再生時間

再生ファイルの経過時間を表示します。

3. ファイル数表示

すべての記録されたファイル数と現在のファイルの番号を表示します。

4. 次のファイルへ

▼ボタンを押すと、1つ後に記録されたファイルを見ることができます。

4. 次のファイルへ

▼ボタンを押すと、1つ後に記録されたファイルを見ることができます。

5. 前のファイルへ

▲ボタンを押すと、1つ前に記録されたファイルを見ることができます。

6. 再生 / 一時停止

OK ボタンを押すと、再生または一時停止します。

7. ファイル選択へ

(再生メニューへ)

↶ ボタンを押すと、ファイル再生のサムネイル画面に戻ります。

8. ファイル保護

ボタンを押すと、ファイルを保護します。(P31)

9. 削除メニュー

ボタンを押すと、削除メニューになり、ファイルを削除することができます。(P31)

10. 画像再生

OK ボタンを押すと、次の画像を表示します。

使いかた (つづき)

記録ファイルを削除するには

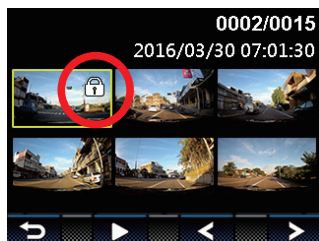
- 1 削除したいファイルを再生 / 表示する
(☞ P29)
- 2 [緊急録画]/[ビデオ]の場合、OK ボタンを押して再生を一時停止する
- 3 ▲ボタンを押すと削除メニューになる
- 4 ▲ / ▼ボタン押し、[1 つ削除]または[すべて削除]を選択して、OK ボタンを押す
 - キャンセルする場合は、[キャンセル]を選択してOK ボタンを押します。↶ ボタンを押すと、元の画面に戻ります。



削除された記録ファイルを復元することはできません。必要な記録ファイルは必ずバックアップしてから、削除してください。

記録ファイルを保護するには

- 1 保護したいファイルを再生 / 表示する
(☞ P29)
- 2 [緊急録画]/[ビデオ]の場合、OK ボタンを押して再生を一時停止する
- 3 ▼ボタンを押すと記録ファイルが保護される
 - 保護されたファイルはサムネイルの右上に「カギ」のアイコンが表示されます。
 - 保護を解除する場合、保護されたファイルを再生 / 表示して▼ボタンを押します。



お知らせ

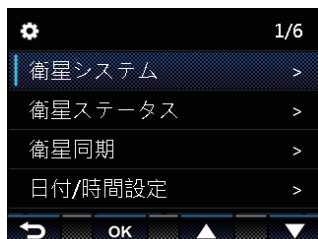
- 緊急録画、ビデオ、画像の保護はそれぞれ3ファイルまでです。メモリーカードの容量の上限に達したとき、保護された録画ファイルを除いて、自動的に古い録画ファイルから順に上書きされて繰り返し保存し続けます。

設定

メニューの内容

- メニューの内容は以下のようになっています。

1 ページ目



2 ページ目



3 ページ目



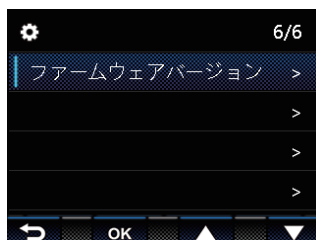
4 ページ目



5 ページ目



6 ページ目



設定 (つづき)

メニューの操作

録画中の場合は、OK ボタンを押して、録画を停止します。

- 1 ▼ボタンを押し、メニューを表示する
- 2 ▲ / ▼ボタンを押し、設定したい項目を選択して、OK ボタンを押す
- 3 ▲ / ▼ボタンを押し、お好みの設定を選択し、OK ボタンを押す
- 4 ↵ ボタンを押すと、メニューを終了する

設定 (つづき)

メニューの設定項目と機能

メニューの項目	説明	選択可能な設定	初期設定 (お買い上げ時)の設定
衛星システム	位置測位システムの種類を選択します。	GPS ^{*1} / GLONASS ^{*2}	GPS
衛星ステータス	衛星信号の受信状態を表示します。	—	—
衛星同期	衛星と自動的に時間の同期を行ないます。この機能が有効の場合、本機は衛星の時間を優先的に表示させ、手動での時間変更ができなくなります(時間帯の任意の変更はしないでください)。	オン/オフ	オン
日付 / 時間設定	日付と時間の設定を行います。	年、月、日、時間、分、秒 (衛星の時間帯を設定する場合 P19)	—
時間表示	現在時間を表示するかしないかの設定を行います。	オン/オフ	オン
解像度設定	録画の解像度を設定します。	1 080P/27.5 fps 1 080P/30 fps 1 080P/55 fps 1 080P/60 fps	1 080P/ 27.5 fps
明るさ調整	露出補正が設定できます。	+2 ~ -2	0
LCD 設定	録画が開始された後、ディスプレイを自動的にオフにする時間を設定することができます。	常にオン 1 分後にオフ 3 分後にオフ 5 分後にオフ	常にオン

※ 1 GPS (Global Positioning System)

アメリカ国防総省によって運用されている衛星測位システムです。

※ 2 グロナス (GLONASS : Global Navigation Satellite System)

ロシア宇宙軍によって運用されている衛星測位システムです。

設定 (つづき)

メニューの項目	説明	選択可能な設定	初期設定 (お買い上げ時) の設定
音声録音	音声録音のオン/オフを設定することができます。	オン/オフ	オン
ビープ音	ビープ音を設定することができます。	オフ、20 %、40 %、60 %、80 %、100 % (数字が大きいほど音量が大きい)	60 %
自動録画・録音	本機の電源を入れた後の自動録画・録音機能のオン/オフを設定することができます。	オン/オフ	オン
録画・録音間隔	1つのファイルの録画・録音時間を設定することができます。	1分/3分	3分
衝突検出	衝突検出機能のオン/オフを設定することができます。この機能をオンにしていると、衝突が検出された場合、緊急録画機能が自動的に起動されます。	オフ/高感度/標準感度/低感度	標準感度
車線逸脱警告	GPS 位置情報が確定し、走行速度が 60 km/h 以上で、車が車線をはずれたとき、音と画面で警告します。	オン/オフ	オフ
前方衝突警告	GPS 位置情報が確定し、走行速度が 60 km/h 以上で、前方車との距離が 20 m 以下になったとき、音と画面で警告します。	オン/オフ	オフ
ドライバー疲労警告	この機能をオンにしている場合、車の運転が開始された 1 時間後に、お知らせの音とメッセージを画面に表示させ、その後 1 時間ごとに、お知らせを表示させます。	オン/オフ	オフ
制限速度警告	制限速度を検出して警告します。	オフ、60 km/h ~ 200 km/h まで 10 km/h 区切り	オフ

設定 (つづき)

メニューの項目	説明	選択可能な設定	初期設定 (お買い上げ 時) の設定
フォーマット 設定	microSDHC メモリーカードの フォーマットを行います。	確認／キャンセル	キャンセル
初期設定	全ての設定をお買い上げ時の状 態に戻します。	確認／キャンセル	キャンセル
言語	ディスプレイの表記言語を設定 することができます。	English / 繁体中文 / 簡体中文 / 日本語	日本語
ファームウェア バージョン	現在のファームウェアバージョ ンを確認することができます。	—	—

画質設定と録画時間について

- 各設定のファイルサイズや録画時間は目安です。

フレームレート	録画解像度	1分間の ファイルサイズ	最大録画時間 ^{※1}
27.5 fps	1 920 × 1 080	約 64 MB	約 85 分
30 fps	1 920 × 1 080	約 84 MB	約 80 分
55 fps	1 920 × 1 080	約 119 MB	約 60 分
60 fps	1 920 × 1 080	約 125 MB	約 55 分

※ 1 8 GB の microSDHC メモリーカードを使用した場合。

商標などについて

- microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴおよび High Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC. の登録商標または商標です。
- Google は Google Inc. の商標または登録商標です。
- Baidu は Baidu Inc. の商標または登録商標です。
- 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

本機のお手入れ

- ベンジンやシンナー類、マニキュア除去液、アルコール類などは使用しないでください。
(ケースや塗装が変質するおそれがあります)
- 磨き粉などが配合された洗剤で拭かないでください。
キズの原因となります
- レンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。
乾いた布で強くこするとキズの原因となります。

ソフトウェアおよびオープンソースソフトウェアについて

弊社製品のソフトウェアには、以下のオープンソフトウェアのプログラム（OSS）が含まれています。

■ 弊社製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

(1) パナソニック台湾株式会社（「パナソニック台湾」）により、またはパナソニック台湾のために開発されたソフトウェア

(2) 以下のライセンス条件に基づいてライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記(2)に分類されるオープンソースソフトウェアには、以下のライセンス情報が適用されるオープンソースソフトウェアのプログラムが含まれています。

BSD LICENSE

The GPSD code is Copyright (c) 1997, 1998, 1999, 2000, 2001, 2002 by Remco Treffkorn. Portions of it are also Copyright (c) 2005 by Eric S. Raymond. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:<P>

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.<P>

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.<P>

Neither name of the GPSD project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

故障かな？!

症 状	原 因	解 決 策
画面がブルースクリーンになったとき、あるいはフォーマットの操作を行った後、録画の画面に切り替えると、各ボタンが機能しなくなった。また、操作の途中で「プロセス中」のメッセージが表示され、各ボタンが機能しなくなった。	地形や環境により、同期時間が干渉された可能性がある。	電源スイッチを下にスライドさせてオフにし、8秒経過後、再びオンの位置に戻して再起動を行なってください。 (P17)
車が少し道の悪いところを走っただけで、緊急録画が起動してしまう。	[衝突検出] の設定が合っていない。	ドライブレコーダーの [衝突検出] を [低感度] に設定することで改善できます。(オフに設定すると事故のとき、緊急録画機能は作動しません) (P35)
録画ファイルが壊れた。(ファイルが再生できない)。	microSDHC メモリーカードの規格が違う。	microSDHC メモリーカードが CLASS 10 以上であることを確認してください。 (P13)
	フォーマットがうまくできていない。	microSDHC メモリーカードを本機で初めて使用するときは、フォーマットしてください。 (P36)
記録した microSDHC メモリーカードをテレビ等に直接挿入し、再生しようとすると、「このファイルはサポートしていません」等のエラーが表示された。あるいはうまく再生できない。	テレビ側で以下のフォーマットをサポートしていない。あるいは設定が違う。 ファイルフォーマット：MP4 映像のコーデック：H.264 音声のコーデック：ADPCM	テレビ側の取扱説明書を確認してください。
ビデオを再生するとき、画面が汚れていたり不明瞭。	レンズまたはフロントガラスが汚れている。	レンズまたはフロントガラスの清掃を行ってください。 (P37)
一般的なメディアプレーヤーで再生すると、音声がでない。	本機の記録フォーマットをサポートしていない。	付属の CD-ROM に収録されている DVR プレイヤーを使用して再生してください。

故障かな?! (つづき)

症 状	原 因	解 決 策
「DVR プレイヤー」のソフトウェアを使用した が、車の録画走行ルートが表示 されない。	録画ファイル (MP4) と GPS/G-Sensor ファイル (NMEA) が同じフォルダに 保存されていない。	録画ファイル (MP4) と GPS/G-Sensor ファイル (NMEA) を同じフォルダに 保存してください。 (P44)
GPS との同期が終了しな い。	地形や環境により、同期時 間が干渉された可能性がある。	電源スイッチを下にスライ ドさせてオフにし、8 秒経っ た後、再びオンの位置に戻 して再起動を行なってくだ さい。 (P17)

仕様

出力映像	Full HD (1 080P/27.5 fps; 1 080P/30 fps) HDR Full HD (1 080P/55 fps; 1 080P/60 fps) WDR
電源電圧	DC 5 V (シガーライターコード使用時)
消費電流	1 A
消費電力	3.7 W
撮像素子	1/3 型 CMOS イメージセンサー
有効画素数	2 688 (H) × 1 520 (V) (約 408 万画素)
レンズ	広角固定フォーカスレンズ F1.8、f=2.94 mm
画角	視野角 155 度、垂直 62 度、水平 122 度
水平解像度	1 080 本
記録メディア	Class 10 の microSDHC 8 GB ~ 32 GB までサポート
LCD ディスプレイ	2.31 型 TFT カラーモニター
衛星システム	GPS / GLONASS
録画ファイル：解像度	Full HD (1 080P/27.5 fps; 1 080P/30 fps) HDR Full HD (1 080P/55 fps; 1 080P/60 fps) WDR
録画ファイル：フォーマット	MP4
静止画 (画像)：解像度	1 920 × 1 080
静止画 (画像)：フォーマット	JPEG
加速度計	3-Axis G-Force センサー
マイク	あり
スピーカー	0.5 W
インターフェイス	Mini USB/HDMI (タイプ D) 出力端子コネクタ
外形寸法	64 mm × 60 mm × 33 mm (本体のみ)
質量	約 93 g (microSDHC メモリーカード含む)

- 本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書の記載の寸法・質量はおおよその数値です。
- 画面表示などの色は印刷物ですので実際と異なる場合があります。

付属のソフトについて [DVR プレイヤー]

「DVR プレイヤー」について

- 付属のCD-ROMには「DVR プレイヤー」というソフトウェアが収録されています。「DVR プレイヤー」は本機で記録した microSDHC メモリーカードの記録ファイルをパソコンで見ることができるビューアーアプリです。

「DVR プレイヤー」のインストール

CD-ROM を入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了してください。

1 CD-ROM をパソコンに入れる

- セットアップメニューが起動します。

お知らせ

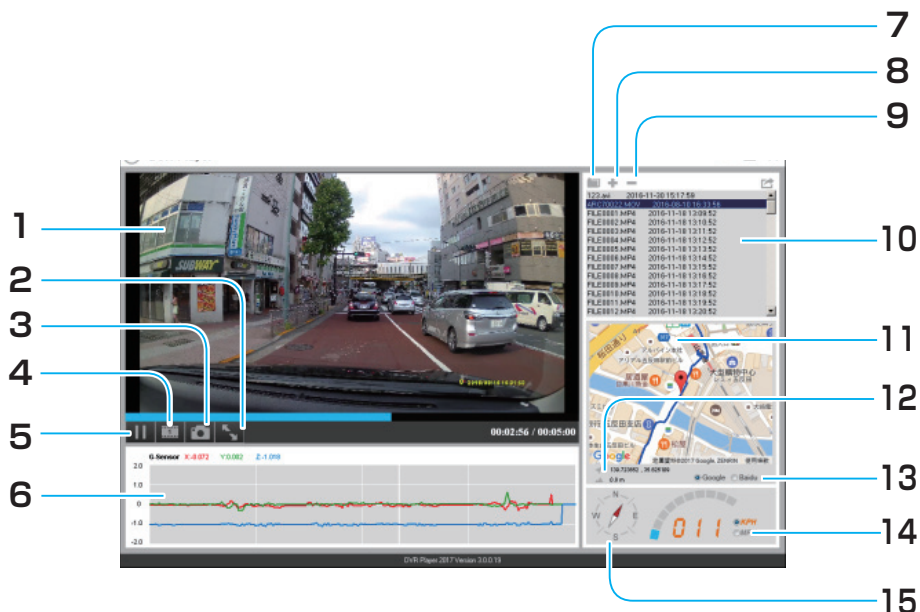
- セットアップメニューが自動起動しない場合は、「コンピューター」から CD-ROM の入っているドライブをダブルクリックし、「CDMenu.exe」をダブルクリックすると、セットアップメニューを起動することができます。

2 PC ビューアー [DVR プレイヤー] をダブルクリックしてインストールする



付属のソフトについて [DVR プレイヤー](つづき)

操作画面



1. ビューアー

ファイルを再生すると表示されます。

2. フルスクリーンボタン

画面いっぱいに拡大したいときに押します。

3. スナップショット

再生画面を静止画として保存できます。

4. 次のフレームへ

1つ後に記録されたフレームを見ることができます。

5. 再生の停止

6. 衝突センサーの感度

7. フォルダー

記録したフォルダーを開きます。

8. ファイル追加ボタン

見たいファイルをプレイリストに追加します。

9. ファイル削除ボタン

不要なファイルをプレイリストから削除します。

10. プレイリスト

microSDHC メモリーカードに記録されたファイルの中で、DVR プレイヤーに登録したリストファイルを表示します。

11. Google マップ

12. 座標/高度の情報

13. 地図の切り換え

Google と Baidu の地図を切り換えることができます。日本では Google マップのご利用をお勧めいたします。

14. スピードメーター

15. コンパス

付属のソフトについて [DVR プレイヤー](つづき)

お知らせ

- 車の走行ルートを Google マップに表示させるには、インターネットに接続してから、ファイルを再生してください。
- Google マップが表示できない場合、アンチウイルスソフトやセキュリティソフトが働いている可能性があります。
- 映像ファイル (MP4) と GPS/G-Sensor ファイル (NMEA) を同じフォルダに保存することで、同時再生を行うことができます。
- 「DVR プレイヤー」は Windows7 以上の OS に対応しております。(32 bit と 64 bit のどちらにも対応) [※ 2017 年 1 月現在]